

1 研修会の経緯

平成 22 年度より、町サーバーの提供する CMS ソフトによって各校でホームページを Web 運営している。この CMS ソフトは、教育センターが奨める CMS とは異なるもので、Web ページ構築上の手続きの煩雑さや制約が多く、コンピュータに手慣れた者でも、困惑することが多い。また、Web ページに付加的な価値をつけるモジュールという概念がなく、テンプレート数も極めて少ない。さらに、Web ページ更新担当者は、内子町 Web ページの階層下に位置づけられた部分に各校の WEB ページがあることを理解し、サブサイトとしての Web ページ構築・更新のノウハウを身に付けていく必要がある。特に、公開までの過程には、現在の制作進捗状況を把握しておき、次の手続きを踏むことが重要となる。

これらの複雑で難解な操作や技能を身に付ける場として行政の Web ページ担当者、教育委員会とタイアップして実技研修会を実施してきた。

2 第 1 回情報教育技術研修会

(1) 期日 平成 27 年 8 月 11 日 (火)

(2) 会場 内子町立内子中学校

(3) 研修内容

- ① Web ページ作成方法・保守管理の確認 (講師：町役場総務課職員、町学校教育課職員)
 - ・ 講師の方による基本的な操作方法の説明
 - ・ 質疑応答
- ② Web ページの内容について
 - ・ 役場の方による内容の点検
 - ・ 各校への個別指導
- ③ Web ページ作成上の注意
 - ・ 個別指導を受けての手直し
 - ・ 操作方法に関する個別の質疑応答
- ④ その他
 - ・ 情報教育研究紀要原稿執筆者選考

3 成果と今後の課題

今年度、初めて情報教育主任となり、Web ページを担当することになった教員も多かった。そのため、研修会により、町の CMS を利用した Web ページ作成の悩みを解決した参加者も多数いて、有意義な会になった。また、研修会での質疑応答の場面では、Web ページの基本的な使い方だけでなく、Web ページを閲覧する人が見やすくなるための方法など、たくさんの質問があった。喜多支部の学校の大部分が小規模校であり、複数の校務分掌を兼務している教職員が多いため、Web ページを更新するのが困難な状況にある学校がほとんどである。しかし、そのような状況下でも、よりよい Web ページになるように、今後も研修や各校との情報交換をしていきたい。